



いなほ

稲積神社社報

第21号

平成16年 5月 3日発行



稲積神社甲府伊勢講 神話と伝統の里 高千穂峡と話題の黒川温泉の旅

天岩戸神社正式参拝 平成15年11月16日

正ノ木例大祭式次第

定刻 手水の儀

次 修祓の儀

次 宮司一拝

次 宮司御扉を開く

次 禰宜以下神饌を供す

次 宮司祝詞を奏す

次 玉串拝礼

次 宮司遷御の祝詞を奏す

次 遷御

次 宮司発御の祝詞を奏す

次 宮司一拝

次 発御

平成十六年度正ノ木例大祭 神賑行事(予定)

四月二十八日(水)

献木祭 午前10時

甲府商工会議所(境内)

五月二日(日)

前夜祭 午後六時(社殿)

飯野のり子歌謡ショー(舞台) 午後六時〜九時

三日(月)

大祭 午前10時

御輿渡御 午前十一時〜午後四時

奉納相撲 午前十一時〜午後三時

御神酒班酒 正午〜

甲府囃子 午後一時〜二時

バザー 午後二時〜

カラオケ大会 午後六時〜九時

四日(火)

大祭特別祈願祭 二ノ祭

田代ひばり歌謡ショー(終日)

五日(水)

大祭特別祈願祭 三ノ祭

演奏奉納(舞台)

稲積神社雅楽会

童謡ちゃんこの会

終了祭 午後六時(社殿)



崇敬会

宮司 根津泰昇

当神社は、甲府空襲で天満天神社以外はすべて焼失崩壊してしまいました。復興は昭和三十年に拜殿が再建され、昭和四十七年には本殿が改築され、参集殿が新築されました。

年奉祝記念事業にも会員各位よりご協賛を賜わり記念事業も無事完遂出来ました。記念事業を終へ三年が経過し、神域も神敵の極みの竹まいの様子を取戻し、まさに稲荷大神様の鎮まります荘厳の杜にと移り変わりました。

新たな神域から「感謝」「祈り」「幸福」等を発信したいそんな思いから石坂会長に「崇敬会」をより一層の充実を図りたい旨を相談申し上げたところ、会長より、これからの会の発展には新たな時代に対応するべく執行部を一新してはどうかと、御提案を戴きました。

さつそく総代の方々と慎重審議のうえ、新たな感覚と実行力のある宮川睦武総代を新会長に推薦する事に決め、宮川総代にお願いしたところ、心よく会長職をお受けいただきました。

現代の社会環境は、子供の虐待、青少年犯罪等目に余る凶悪犯罪、また自国を愛する

崇敬会の事業として、神殿正面に大石燈籠、脇参道に鳥居、末社金刀比羅神社の鳥居等の設置を主な事業として実施して戴きました。平成九年から十三年の間に

行なわれた、ご鎮座四百

精神の欠乏、一方モラルの低下に伴う社会のルールやマナーを守れない子供達の行為も社会問題のひとつでありましょう。禁止されている場での携帯電話の使用や、病院、レストラン等でのマナーの悪さも珍しくありません。以前でしたらそんな姿を見て、厳しく注意する親や地域のこわいおじさん、おばさんの姿がありました。

厳しく注意できる親、地域のこわいおじさん、おばさんは、社会にとって大切な人であり「祈る心」「感謝の心」を兼ね備えた人であります。

「稲積神社崇敬会」は「祈る心」「感謝の心」を養い、日本の美風である「敬神崇祖」の精神を養い、広大無限の「稲荷大神様」の「ご神威」「ご神縁」を戴き、また会員相互の親交を深め、微力ながら社会に貢献すべく自己研鑽する会であります。

どうか多くの皆様方に、ご入会いただき「ご神縁」を深め、多くの人々との「ご縁」をお授かりになりましょう。

心よりご入会をお待ち申し上げております。

祭典行事歴

(五月〜十一月)

- 毎月 一日 月始祭
- 三日 月次祭
- 十五日 神恩感謝祭
- 古神札 焚上げ祭
- 四月二十八日 献木祭
- 五月二日 正ノ木大祭前夜祭
- 三日 正ノ木例大祭
- 四日 大祭特別祈願祭
- 二ノ祭
- 五日 三ノ祭
- 六月一日 正ノ木大祭終了祭
- お田植祭
- 三十日 夏越大祓
- 七月十五日 瘡子社例祭
- 八月 富士ヶ嶺開拓祭
- 十月十日 金刀比羅祭
- 十月十七日〜十九日 甲府伊勢講千社まいるの旅
- 白虎隊のふるさと会津と家康をまつる日光をめぐる旅
- 十一月二十三日 新嘗祭

御日供献饌講について

当神社では毎朝大神様に神饌(米・酒・乾物・野菜・果物・塩・水)をお供えして祭典を奉仕しております。このおまつりを「御日供祭」と称し、御日供祭にお供えする神饌奉献者の集まりを御日供献饌講と申します。

御日供献饌講は、毎年、一月一日より十二月三十一日迄を区切りとして、毎朝講員の皆様の繁栄をお祈り申し上げ一年間お護りいただきたく御礼として順次大神様に神饌をお供えして参ります。

又、御奉献いただいた講員の方々に、年一度お集り願って大神様に益々の御加護を祈念すべく御日供献饌講々社祭を斉行致します。

この御日供献饌講の初穂料は一口三千円です。御希望の方は御参拝の折に受付へお申し出下さい。

祝祭日には

国旗を揚げましょう!! 神社社務所でも頒布しております。

国旗セット

(国旗、竿、金色冠頭) (取付金具、収納袋付) 頒布価格 一、五〇〇円

崇敬会の御案内

(第十九号で御案内させて頂きました、当神社崇敬会の会費等若干の変更がございますので改めてご案内させて頂きます。)

稲積神社崇敬会

父母を尊び、先人を敬ひ、子孫を愛する美風は「敬神崇祖」の国風として培われてきました。

当崇敬会は、この国民精神を継承すること、稲荷大神様と御神縁を深め、稲積神社の護持発展に寄与し会員相互の懇親を図る事を目的とする会でございます。

要項

- 一、年会費
 - 特別会員 二万円
 - 正会員 一万円
 - 会員 五千円

一、特典

○会員の誕生月には、当月の月始祭にご案内し、家内安全、身体堅固をご祈願し、神札を授与します。

○毎日朝の日供祭で会員の「ご安泰」を祈願致します。

○会員には領収書を兼ねた朱印帳を交付致します。

○正ノ木祭例大祭、崇敬者大祭等神社の祭典にご案内致します。

○参拝の折には昇殿にて参拝が出来ます。

○当神社甲府伊勢講主催の千社詣の集い、又本宗と仰ぐ伊勢の神宮の新穀感謝祭参拝のご案内を致します。

当神社を崇敬し、本会の趣旨に御賛同の方はどなたでも入会できます。

多数の皆様のご入会を心よりお待ち申し上げます。

塩島責任役員を偲んで

稲積神社筆頭総代

塩島様を送って。

責任役員 丹澤 正 臣

三年ほど前に体調を崩し、療養生活を送られておりましたが、奥様を始めご家族の献身的な看護のおかげで、驚くほどの回復をされ、神社の諸行事にも参加、取分け伊勢講の旅行で出雲大社参拝の旅や昨年の秋には九州熊本へも元

気に行つてこられ、その後も大好きなゴルフも楽しんでおられた様子でしたが、昨年暮れに再入院され春を待たずに二月初め帰らぬ人となつてしまわれました。まだまだ、七十四歳早すぎると誠に残念でなりません。

塩島先輩と私の出会いは、塩島様のご子息と私の倅とが一蓮寺幼稚園で一緒になり父母の会等でお世話になつたのが始まりでありました。又年齢は九歳違いますが同じ甲府商業高校の卒業で互に釣りが好きということで意気が合い釣りに行つたり家族同士のお付き合いが始まつたのです。

塩島様は、私の人生にこれ程かかわつた人と申しました。側においてくれました。そしていつも弟のように可愛がつてくれました。

思い起こせば、まず私の娘が一蓮寺幼稚園に入園した時に塩島様から、丹澤君、父母の会の会長をやりなさいとの一言で会長という大役を仰せ遣り、又あるときは、ゴルフをやれと言つて道具を買わされた事が私がゴルフを始めるきっかけとなりました。又、稲積神社へ連れていかれ、先代の宮司様や奥様と引き合わ

せて頂いたり、又あるときは神社の総代になつてくれと家に来られたときは、さすがに私もそのような器の人間ではないのでお断りし、すげなく帰つて頂きましたが、翌日今度は宮司様を連れて来られました。私などにはと再度お断り申し上げました。これでこの件は塩島様も諦めてくれたものと思つていたところ今度は私の女房を口説き、私もとうとう総代を引き受ける事になつたりという様な事が昨日の様に思い出されます。

又、この度は先にあの世とやらへ行つてしまい、塩島様の後任として神社責任役員という大役を仰せつかる事にもなつてしまいました。

伊勢講の講元を十三年間仰せつかったり、私の様な者が名誉ある稲積神社の責任役員を仰せつかったりと、私には身に余る名誉と思ひ今後は塩島様の名を汚さぬように一生懸命奉仕させて頂きます。そうする事が塩島様に対する供養になるのではないかと思います。

どうか安らかに御眠り下さい。そしてこれからお見守り下さいませように祈るばかりです。本当に色々と有り難うございました。

人の動き

帰幽

責任役員 塩島喜代則氏
二月三日 享年七十四歳



同氏は昭和五十一年総代に就任以来、永年に亘り神社発展に尽くされた。

特に次代を担う青年に対する想いは篤く神社ソフト部初代監督として後進の指導に当り、後の崇敬青年会の礎を築かれた。

神社界にあつては、支部総代会監事、同副会長、神社庁協議委員等を歴任、平成十二年、山梨県神社関係者大会に於いて神社庁規定表彰を受賞された。

当神社はもとより斯界に尽くされた功績は多大である。ここに謹んで御冥福を御祈り申し上げます。

就任

責任役員

総代 小尾 武氏

再任

山梨県神社総代会

会長

総代 宮川 睦武氏

合掌

【案内】 甲府伊勢講千社詣りの集い

世界文化遺産、日光東照宮 参拝と紅葉の磐梯高原・奥日光・渓谷の温泉鬼怒川・芦ノ牧・白虎隊のふるさと会津をめぐる二泊三日の旅を企画いたしました。

この機会に皆様お誘いあわせの上、多数ご参加いただけますようご案内申し上げます。

旅行期間 平成十六年十月十七日(日)～十九日(火) 三日間

旅行代金 一人 五二、〇〇〇円

募集人員 一六〇名

お申し込みお問い合わせ先 伊勢講世話人・神社々務所

行	程	◎
10/17(日)	甲府各地(中央道・長野道・上信越道・北陸道・館越道)蔵の街・喜多方(昼食) 会津若松・鶴ヶ城 芦ノ牧温泉	朝× 昼○ 夜○
10/18(月)	芦ノ牧温泉 飯盛山(スロープ乗車) 磐梯コールドライン 五色沼 松原湖(昼食) 磐梯道・東北道 日光たまり湯 鬼怒川温泉	朝○ 昼○ 夜○
10/19(火)	鬼怒川温泉 日光東照宮(正式参拝) いろは坂 中禅寺湖(昼食) 戦場ヶ原(車窓) 金精トンネル (関越道・圏央道・中央道) 甲府	朝○ 昼○ 夜×

※道路事情等により一部見学地等が変更になる場合があります。 にご宿泊予定ホテル 10/17(日) 芦ノ湖温泉 大川荘 (☎0242-92-2111) 10/18(月) 鬼怒川温泉 あさやホテル (☎0288-77-1313)

そろばん合格給馬奉納

甲府商工会議所並日本珠算連盟山梨県支部は第二十四回ちびっこ珠算競技大会(そろばん塚建立記念)、三月七日開催を迎えるに当り、三月五日に甲府商工会議所、日本珠算連盟山梨県支部の関係者が当神社に参拝し大会成功祈願並そろばん合格給馬奉納式を祭行した。

このちびっこ珠算競技大会は、昭和十九年十一月、商工会議所主催による第一回の全国一斉の珠算能力検定試験が開催されてより、昭和五十五年十月開催大会が数えて第百回になる節目を記念し、当神社境内にそろばん塚を建立、これを機に昭和五十六年三月第一回ちびっこ珠算競技大会、そろばん塚建立記念として毎年



くは祭事掲示板又は社務所まで。何方も参列出来ず。詳しくは祭事掲示板又は社務所まで。

稲積神社の四時祭 平成十六年境内社のまつり

- 二月
- 三日 節分祭
- 八日 針供養祭
- 九日 初午祭
- 十五日 甲子祭
- 十七日 祈年祭
- 三月
- 十日 天満天神社例祭
- 二十六日 熊野社祭

開催されている大会である。建立された、そろばん塚には、先人達の功績を称える思いと、次代を担う子供達の為に今後、も珠算教育が発展するよう祈りが刻まれている。

夏越大祓式の御案内

大祓は六月三十日と十二月三十一日の年二回、半年毎に全国の神社で執り行なわれ、私たちが知らず知らずのうちに犯した罪汚れを祓い清める神事です。

特に六月の祓は「夏越の祓する人は千歳の命延ぶ」と謳われているようににちの輪をくぐり邪気を祓い暑い夏を元気で過ごせるようお願いが込められています。

当神社でも六月三十日に齋行致しますので是非御家族お揃いで御参拝下さいませよう御案内申し上げます。詳しくは社務所までお問い合わせ下さい。

命継ぐ食もの衣もの住むいへも 稲荷の神の恵みなりけり

正ノ木稲荷大明神

稲積神社

甲府市太田町公園内鎮座 電話 (055) 233-5573 FAX (055) 226-0787



奉納 几帳一對

甲府市音羽町 羽中田 小春様

親子二代に亘り奉納 この度、羽中田譲様還暦の年祝いに御夫婦で社殿を美しく飾る几帳一對を御奉納されました。 これまでの几帳は羽中田様の父、故羽中田正重様に御奉納頂いたのですが、長い年月により傷みが酷く、御相談申し上げたところ快諾頂きこの度の親子二代での御奉納となりました。 心よりお礼申し上げます。